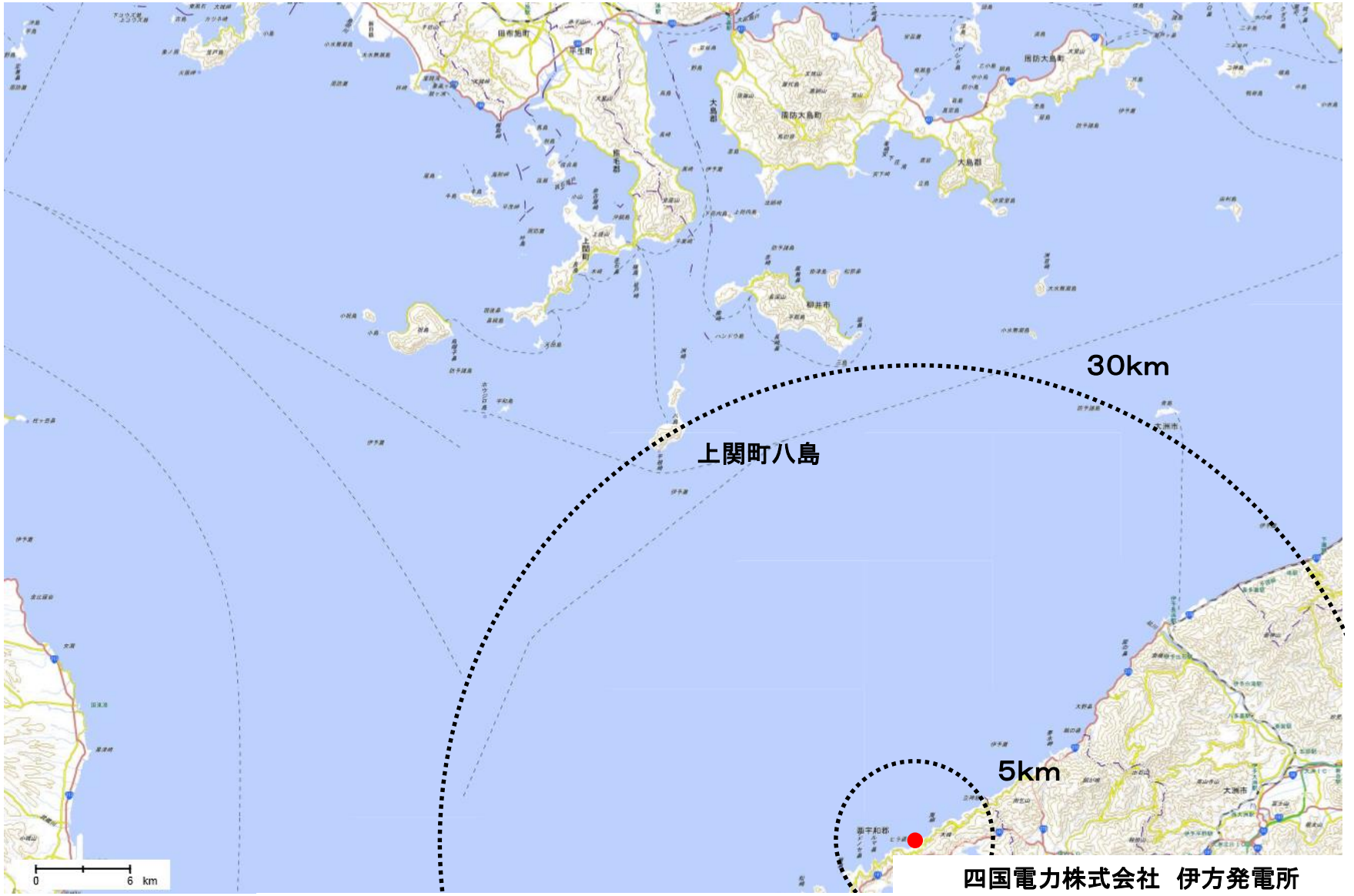
（１）　原子力災害対策重点区域



この背景地図等データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものである。

（２）原子力災害対策重点区域の概要

① 原子力災害対策重点区域

区分	範囲	対象区域
ＰＡＺ（予防的防護措置を準備する区域）	原子力施設を中心として概ね半径５ｋｍの範囲	－
ＵＰＺ（緊急時防護措置を準備する区域）	原子力施設を中心として概ね５～３０ｋｍの範囲からＰＡＺを除いた範囲	上関町八島

② 上関町八島

ア）概要

面積	４．１６ｋｍ^2
人口	１３世帯１８人
飲料水の状況	水源：３か所（河川水２、ボーリング水源１（深井戸））
周辺地域の農畜水産物の生産等の状況	農産物：自家消費用のみ 畜産物：なし 水産物：たこ等を小規模に島外流通
交通手段	上関八島航路：１日３往復（定員５８人）、所要時間３５分

※人口、世帯数は令和６年４月１日時点

イ）定期航路

上関町→八島				八島→上関町			
	上関	室津	八島		八島	室津	上関
１便	6:15	6:20	6:50	１便	6:55	7:35	7:38
２便	10:00	10:05	10:35	２便	13:00	13:32	13:35
３便	16:30	16:35	17:05	３便	17:10	17:42	17:45

（3）緊急時モニタリング地点及び内容

①　地点

地名 (地点番号)	測定地点名	調査項目	測定地点詳細				
			北緯	東経	標高（m）	伊方発電所起点 距離（km）	方位
上関町八島 (Ka-1)	八島測定局	空間放射線量率、 土壌等	33度43分45.5秒 (33.729306)	132度08分21秒 (132.139166)	3.7	30.7	北北西
上関町八島 (Ka-2)	八島乗船場	陸水	33度43分45.5秒 (33.729305)	132度08分33.3秒 (132.142582)	2.7	30.4	
上関町八島 (Ka-3)	八島沖	海水、海底土	33度43分48秒 (33.730006)	132度09分48秒 (132.163328)	－	29.6	

②　内容

モニタリング資機材	測定地点	測定項目						
		大気			土壌、陸水、海水、海底土		飲食物※	
		空間放射線量率	放射性 ヨウ素濃度	浮遊じん中 放射性物質濃度	放射性物質濃度	表面汚染密度	放射性物質濃度	表面汚染密度
固定観測局	八島測定局（Ka-1）	情	B	B	－	－	－	－
サーベイメータ NaIシンチレーション式		B （必要に応じて）	－	－	－	－	－	－
ゲルマニウム半導体検出器	八島測定局（Ka-1） 八島乗船場（Ka-2） 八島沖（Ka-3）	－	B	B	C	－	C	－

※空間放射線量率が0.5μSv/hを超過した場合に実施

【凡例】

情：情報収集事態以降において実施

Ａ：警戒事態（Ａレベル）以降において実施

Ｂ：施設敷地緊急事態（Ｂレベル）以降において実施

Ｃ：全面緊急事態（Ｃレベル）以降において実施

（４）平常時の環境放射線の状況

①上関町八島

測定項目		測定地点名	過去の測定値	測定期間
空間放射線量率	固定観測局 （10分値）	八島測定局（Ka-1）	23 ～ 45 nGy/h	2013年4月～2024年3月
	サーベイメータ		77 nSv/h	2015年3月5日
	可搬型モニタリングポスト （1分値）		45 ～ 73 nGy/h	2016年6月～2024年3月
大気浮遊じん中 放射性物質濃度	全α・全β放射能比 （10分値）		0.3 ～ 4.5	2014年4月～2024年3月
	全α放射能 （10分値）		1.4 ～ 11000 mBq/m^3	2014年4月～2024年3月
	全β放射能 （10分値）		0.43 ～ 37000 mBq/m^3	2014年4月～2024年3月
大気中放射性ヨウ素濃度			N.D. mBq/m^3	2014年4月～2024年3月
放射性物質濃度 Cs-137	大気浮遊じん		N.D.～0.0012 mBq/m^3	2014年4月～2024年3月
	土壌		N.D.～0.88 Bq/kg乾土 N.D.～28 MBq/km^2	2014年1月～2024年3月
	陸水 （八島簡易水道）	八島乗船場（Ka-2）	N.D. Bq/L	2014年1月～2024年3月
	海水	八島沖（Ka-3）	0.00078～0.0034 Bq/L	2014年1月～2024年3月
	海底土	八島沖（Ka-3）	N.D.～1.5 Bq/kg乾土	2014年1月～2024年3月

※ 固定観測局、環境試料は平常の変動幅を2014年4月から2024年3月までにしています。
※ 基本10年間の変動幅で設定。（年度単位）

（５）資機材配備状況一覧

区　分	モニタリング資機材	配備					合計数量
		八島測定局	環境保健センター	柳井健康福祉センター	県庁	上関町	
空間放射線量率等測定機器	CsIシンチレーション検出器	1					1
	ヨウ素サンプラ	1					1
	大気モニタ	1					1
	気象計(風向、風速、気温、雨量、感雨、日射量、放射収支量)	1					1
	可搬型モニタリングポスト			1			1
モニタリングシステム	環境放射線テレメータシステム（監視端末)		3		2	1	6
	モニタリング情報共有システム（タブレットＰＣ）		4		3		7
サーベイメータ	NaIシンチレーション式サーベイメータ		3	1			4
	電離箱式サーベイメータ		3	1			4
	ＧＭ管式サーベイメータ		3	1			4
	表面汚染測定用サーベイメータ		3	1			4
サンプリング器具	採土器	1					1
	採泥器		1				1
分析装置	ゲルマニウム半導体検出器		1				1
防護用資機材	電子式個人線量計		8	2			10
	防護服(着)	10	490	100			600
	キャップ(個)	10	490	100			600
	シューズカバー(組)	10	490	100			600
	手袋(対)	100	400	100			600
	手袋：厚手(対)	10	490	100			600
	インナー手袋(対)	10	490	100			600
	防塵マスク(D2)(枚)	10	390	100			500
	防塵マスク(個)	2	6	2			10
	防塵マスク用フィルター(組)	5	75	20			100
	保護メガネ(個)	2	6	2			10

（６）四国電力株式会社伊方発電所の概要

		１号機	２号機	３号機
位　置		愛媛県西宇和郡伊方町九町		
用地面積		約86万m^2		
電気出力		56万6千ｋｗ	56万6千ｋｗ	89万ｋｗ
原子炉	型　式	軽水冷却加圧水型（2ループ）		軽水冷却加圧水型（3ループ）
	熱出力	約165万KW	約165万KW	約266万KW
設計熱効率（発電）		約34％		
燃料	種類	低濃縮二酸化ウラン		低濃縮二酸化ウラン ウラン・プルトニウム混合酸化物
	全ウラン装置量	約49ｔ	約49ｔ	約74ｔ
	燃料集合体	121体	121体	157体
復水器	方式	深層取水・水中放流方式		
冷却水	冷却海水量	約38m^3／秒	約38m^3／秒	約63m^3／秒
淡水取水方式		海水淡水化装置		
建設経緯	原子炉設置許可	昭和47年11月29日	昭和52年3月30日	昭和61年5月26日
	着　工	昭和48年6月15日	昭和53年2月21日	昭和61年11月1日
	初臨界	昭和52年1月29日	昭和56年7月31日	平成6年2月23日
	営業運転開始	昭和52年9月30日	昭和57年3月19日	平成6年12月15日
運転終了年月日		平成28年5月10日	平成30年5月23日	
廃止措置計画認可		平成29年6月28日	令和2年10月7日	

（７）緊急事態の区分を判断する原子力発電所の状態（EAL）

山口県地域防災計画（原子力災害対策編）第５章第２節　緊急事態区分ごとの原子力発電所の状態等のとおり

（８）　運用上の介入レベル（ＯＩＬ）

<table>
<tr><th>基準の種類</th><th>実施する防護措置等</th><th>基準値</th></tr>
<tr><td>ＯＩＬ１</td><td>住民等の避難、屋内退避</td><td>500μSv/h
（地上１ｍで計測した場合の空間放射線量率）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ＯＩＬ４</td><td rowspan="2">避難又は一時移転した住民等の除染</td><td>β線：40,000cpm
（皮膚から数 cm での検出器の計数率※1）</td></tr>
<tr><td>β線：13,000cpm【1 ヶ月後の値】
（皮膚から数 cm での検出器の計数率）</td></tr>
<tr><td>ＯＩＬ２</td><td>住民等の一時移転及び地域生産物※２の摂取制限</td><td>20μSv/h
（地上 1m で計測した場合の空間放射線量率）</td></tr>
<tr><td>飲食物に係るスクリーニング基準</td><td>飲食物中の放射性物質濃度測定を実施すべき地域の特定</td><td>0.5μSv/h※３
（地上 1m で計測した場合の空間放射線量率）</td></tr>
<tr><td>ＯＩＬ６</td><td>飲食物の摂取制限</td><td>単位：Bq/kg
<table><tr><th>核種</th><th>飲料水
牛乳・乳製品</th><th>野菜類、穀類、肉、卵、魚、その他</th></tr><tr><td>放射性ヨウ素</td><td>300</td><td>2,000※４</td></tr><tr><td>放射性セシウム</td><td>200</td><td>500</td></tr><tr><td>プルトニウム及び超ウラン元素のアルファ核種</td><td>1</td><td>10</td></tr><tr><td>ウラン</td><td>20</td><td>100</td></tr></table></td></tr>
</table>

※１　β線入射窓面積が 20cm2 の検出器を利用した場合の計数率

※２　「地域生産物」とは、検出された放射性物質により直接汚染される野外で生産された食品であって、数週間以内に消費されるもの（例えば野菜、該当地域の牧草を食べた牛の乳）をいう。

※３　計測場所の自然放射線によるバックグラウンドによる寄与も含めた値。

※４　根菜、芋類を除く野菜類が対象

（9） 様式

様式１　　山口県緊急時モニタリング指示書
様式２　　空間線量率記録表
様式３　　試料採取、測定等記録票
様式４　　総括表（現地サーベイメータ結果）
様式５　　総括表（放射性物質濃度）
様式６（１）個人被ばく線量管理票
様式６（２）個人被ばく線量管理簿
様式Ａ　　要員参集状況表
様式Ｂ　　資材確認表

指 示 書 第　　号
令和　　年　　月　　日　　:

現地班長　　様
分析班長　　様

緊急時モニタリング指示書

指示区分	☐ 新規　☐ 追加　☐ 変更　☐ その他		
班名	所属	氏名	積算被ばく線量(μSv)

地点番号	地 点 名	実 施 項 目
Ka-1	八島測定局 【現地の状況】 〇八島MP空間放射線量率　　μGy/h （平常時　0.03～0.1μGy/h） 〇風向・風速　　・　　m	☐ 試料採取(土壌) ☐ 可搬型モニタリングポストの設置 ☐ 活性炭のカートリッジ、長尺ろ紙の回収 ☐ その他(　　) ☐
Ka-2	八島乗船場	☐ 空間線量率測定(低線量率・高線量率) ☐ 試料採取(陸水) ☐
		☐ その他(測定の準備) ☐ 空間線量率測定(低線量率・高線量率) ☐
		☐ ☐ ☐
その他	☐ (例) 蛇口水について、採取は1日1回2Lとし、回収は放射性物質の沈着後とする ☐ ☐	

報告		
	報告先	: ☐ 調整班　☐ その他(　　)
	報告頻度	:
	報告方法	:
	実施終了時の指示	:
備考	放射線防護資機材	☐ 携行　☐ 着用
	安定ヨウ素剤	☐ 携行　☐ 服用

指示書作成		氏名記入	確認日時
調整班	班長		:
調整班	作成者		:

発信・受信		氏名記入	受発信日時
調整班	発信者		:
本部班	受信者		:
現地班			:
分析班			:

本部長への報告		(報告者)氏名記入	報告日時
本部班 (本部班員は部長等に説明し、了承を得る)	部長		:
	課長		:
	副課長		:

空間放射線量率記録表

報告先:調整班　　作成:現地班

県モニ指示書番号	

測定年月日	
担当者	
天気	
地点番号、地点名	
測定場所	北緯　　°　　′　　″ 東経　　°　　′　　″
測定器	□ 富士電機製　No.　　□ アロカ製　No. □ その他（　　）
測定条件	レンジ　□ AUTO　□ その他（　　）
	時定数　□ AUTO　□ その他（　　）

測定回数	時刻	指示値	単位
1			
2			
3			□ ＿＿＿ Sv/h
4			
5			□ ＿＿＿ Gy/h
6			
7			
8			
9			
10			
平均値(A)			
校正定数(Kc)	□ 1(富士電機製) □ 1(アロカ製)　□ その他（　　）		
報告値(A×Kc)			

RAMISES入力	月　　日 担当
RAMIS入力	月　　日 担当

30秒間隔で、5回以上測定すること

試料採取、測定等記録票

県モニ指示書番号	
試料番号	SS-Ka01- □□□、 SS-□□□□ - □□□ ※SS-地点番号-通し番号(3桁)

採取	採取日時	年 月 日 :
	担当者	
	採取場所	□ Ka-1 八島測定局 □ その他（ 北緯 東経 ）
	天気	前日の降雨 有 □ 無 □
	採取道具	□ U-8容器 □ その他（ ）
	採取量	□ U-8容器1個 □ その他（ ）
	採取面積	□ U-8容器17.72cm^2 □ その他（ cm^2）
	採取深さ	□ 5cm □ その他（ cm ）
	土地の状況	□ 裸地 □ 草地 □ 砂地 □ その他（ ）
	植物	□ 無 □ 有（ ）
	現地班は、採取欄記入後、調整班へ当記録票の写しを送付	

搬入	搬入日時、受取者	月 日 : 受取者
	サーベイメータ測定	□ nGy/h □ nSv/h □ その他（ ）
前処理	処理日時、処理者	月 日 : 処理者
	測定試料量	□□.□□g プリントした紙を裏へ貼付
	試料高さ	□□.□□□cm
測定	開始日時、測定者	月 日 : 測定者
	測定時間	
	測定機器	□ CANBERRA □ その他（ ）
	試料コード	Geで作成されるコード
	結果確認	月 日 担当 人工放射性核種 有 □ 無 □
報告	RAMISES入力	月 日 担当
	RAMIS入力	月 日 担当
	情報収集班へ報告	月 日 担当 様式5作成
保管	保管場所	
	分析班は、分析欄記入後、調整班へ当記録票の写しを送付	

試料採取、測定等記録票

県モニ指示書番号	
試料番号	WA-Ka02- □□□、 WA-□□□□ - □□□ ※WA-地点番号-通し番号(3桁)

採取	採取日時	年 月 日 :
	担当者	
	採取場所	□ Ka-2 八島乗船場 □ その他（ 北緯 東経 ）
	天気	前日の降雨 有 □ 無 □
	種別	□ 水道 □ その他（ ）
	採取量	□ ポリ瓶3L □ その他（ ）
	現地班は、採取欄記入後、調整班へ当記録票の写しを送付	

搬入	搬入日時、受取者	月 日 : 受取者
	サーベイメータ測定	□ nGy/h □ nSv/h □ その他（ ）
前処理	処理日時、処理者	月 日 : 処理者
	測定試料量	2 L
	マリネリ容器番号	
測定	開始日時、測定者	月 日 : 測定者
	測定時間	
	測定機器	□ CANBERRA □ その他（ ）
	試料コード	Geで作成されるコード
	結果確認	月 日 担当 人工放射性核種 有 □ 無 □
報告	RAMISES入力	月 日 担当
	RAMIS入力	月 日 担当
	情報収集班へ報告	月 日 担当 様式5作成
保管	保管場所	
	分析班は、分析欄記入後、調整班へ当記録票の写しを送付	

試料採取、測定等記録票

県モニ指示書番号	
試料番号	DU-Ka01-□□□、 DU-□□□□ - □□□ ※DU-地点番号-通し番号(3桁)

採取	採取場所		□ Ka-1 八島測定局 □ その他（ 北緯 東経 ）
	開始	捕集開始日時	年 月 日 :
		担当者	
		捕集機器	□ 大気モニタ □ その他（ ）
		補集材の種類	□ 長尺ろ紙 □ その他（ ）
		補修材のロット	Lot No.
	終了	捕集終了日時	年 月 日 :
		担当者	
	現地班は、採取欄記入後、調整班へ当記録票の写しを送付 大気モニタ以外(ハイボリウムエアサンプラー等)で捕集する場合 開始時 捕集流量 L/min 終了時 積算流量 m^3		

搬入	搬入日時、受取者	月 日 : 受取者
	サーベイメータ測定	□ nGy/h □ nSv/h □ その他（ ）
前処理	処理日時、処理者	月 日 : 処理者
	測定容器	□ マリネリ容器(容器番号) □ U-8容器
	測定試料量	□□□.□□ g プリントした紙を裏へ貼付
	試料高さ	□□.□□□ cm U-8容器の場合
測定	開始日時、測定者	月 日 : 測定者
	測定時間	
	測定機器	□ CANBERRA □ その他（ ）
	試料コード	Geで作成されるコード
	結果確認	月 日 担当 人工放射性核種 有 □ 無 □
報告	RAMISES入力	月 日 担当
	RAMIS入力	月 日 担当
	情報収集班へ報告	月 日 担当 様式5作成
保管	保管場所	
	分析班は、分析欄記入後、調整班へ当記録票の写しを送付	

試料採取、測定等記録票

県モニ指示書番号	
試料番号	IC-Ka01- □□□、 IC-□□□□ - □□□ ※IC-地点番号-通し番号(3桁)

採取		採取日時	年 月 日 :
		担当者	
		採取場所	Ka-1 八島測定局
		捕集機器	ヨウ素サンプラ
	補充	補集材のロット	活性炭カートリッジ Lot No.
			活性炭フィルタ Lot No.
		補充番号	カートリッジ番号 ～
	回収	回収番号	カートリッジ番号 ～
	現地班は、採取欄記入後、調整班へ当記録票の写しを送付		

搬入	搬入日時、受取者	月 日 : 受取者
	サーベイメータ測定	□ nGy/h □ nSv/h □ その他（ ）
前処理	処理日時、処理者	月 日 : 処理者
	測定容器	□ U-8容器
	測定試料量	□□□.□□g プリントした紙を裏へ貼付
	試料高さ	□□.□□□cm U-8容器の場合
測定	開始日時、測定者	月 日 : 測定者
	測定時間	
	測定機器	□ CANBERRA □ その他（ ）
	試料コード	Geで作成されるコード
	結果確認	月 日 担当 人工放射性核種 有 □ 無 □
報告	RAMISES入力	月 日 担当
	RAMIS入力	月 日 担当
	情報収集班へ報告	月 日 担当 様式7作成
保管	保管場所	
分析班は、分析欄記入後、調整班へ当記録票の写しを送付		

試料採取、測定等記録票

県モニ指示書番号	
試料番号	□□ - □□□□ - □□□ ※試料の種類-地点番号-通し番号(3桁)

採取	採取日時	年 月 日 :
	担当者	
	採取場所	□ Ka-1 八島測定局 □ Ka-2 八島乗船場 □ Ka-3 八島沖 □ その他（ 北緯 東経 ）
	試料名	
	天気	前日の降雨 有 □ 無 □
	現地班は、採取欄記入後、調整班へ当記録票の写しを送付	

搬入	搬入日時、受取者	月 日 : 受取者
	サーベイメータ測定	□ nGy/h □ nSv/h □ その他（ ）
前処理	処理日時、処理者	月 日 : 処理者
	測定容器	□ マリネリ容器(容器番号) □ U-8容器
	測定試料量	□□.□□g プリントした紙を裏へ貼付
	試料高さ	□□.□□□cm
測定	開始日時、測定者	月 日 : 測定者
	測定時間	
	測定機器	□ CANBERRA □ その他（ ）
	試料コード	Geで作成されるコード
	結果確認	月 日 担当 人工放射性核種 有 □ 無 □
報告	RAMISES入力	月 日 担当
	RAMIS入力	月 日 担当
	情報収集班へ報告	月 日 担当 様式7作成
保管	保管場所	
分析班は、分析欄記入後、調整班へ当記録票の写しを送付		

総括表（現地サーベイメータ結果）

報告先

該当区分	区分	受信者	発信者
□	県モニ本部	県モニタリング本部各班	調整班
□	EMC	情報収集管理グループ	測定分析山口

※該当区分

測定日：　　年　　月　　日

作成：測定分析山口　調整班

EMC 指示書番号	県モニ 指示書番号	地点番号	地点名	緯度	経度	伊方発電所からの 方位・距離	空間放射線量率	
							測定時刻	測定値（μSv/h）
（記載例）番号は調整班が記入	番号は調整班が記入	Ka-1	八島測定局	° ′ ″	° ′ ″	北北西　30km	13:00	0.077
				° ′ ″	° ′ ″			
				° ′ ″	° ′ ″			
				° ′ ″	° ′ ″			
				° ′ ″	° ′ ″			
				° ′ ″	° ′ ″			
				° ′ ″	° ′ ″			
				° ′ ″	° ′ ″			
				° ′ ″	° ′ ″			
				° ′ ″	° ′ ″			
				° ′ ″	° ′ ″			
				° ′ ″	° ′ ″			

様式5

総括表(放射性物質濃度)

報告先

該当区分	区分	受信者	発信者
□	県モニ本部	調整班	分析班
□		県モニタリング本部各班	調整班
□	EMC	情報収集管理グループ	測定分析山口

作成日:　　年　　月　　日

作成 :測定分析山口　分析班

EMC 指示書番号	県モニ 指示書番号	試料番号	試料名	地点番号 採取場所	採取日時	分析日時	放射性物質濃度				定量下限値				単位
							^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs		^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs		
(記載例)番号は 調整班 が記入	番号は 分析班 が記入	SS-Ka01-等 (様式3の試料番号)	土壌、陸水、海水 海底土、ろ紙 活性炭カートリッジ等	Ka-1　八島測定局 Ka-2　八島乗船場 Ka-3　八島沖											Bq/kg Bq/L

※採取記録票の写しを添付すること

個人被ばく線量管理票

年度	
所属	
氏名	

No.

日付	線量計番号	出動時		帰還時		被ばく線量（μSv/h）	累積被ばく線量（μSv/h）	ヨウ素剤服用有無	帰還後スクリーニング検査
		時刻	指示値（μSv/h）	時刻	指示値（μSv/h）				
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）
	203D39								良 ・ 除染済 その他（　　）

※被ばく線量＝帰還時指示値−出動時指示値

個人被ばく線量管理簿（全体）

報告先

該当区分	区分	受信者	発信者
□	県モニ本部	安全管理責任者	現地班長
□		県モニタリング本部長	安全管理責任者
□	EMC	情報収集管理グループ	測定分析山口

作成 :測定分析山口　現地班長

記録日時		:

所属	氏名	性別	生年月日	年齢	被ばく線量（μSv/h）	累積被ばく線量（μSv/h）	備考

※作業の有無に関わらず、常時全ての現地班の情報を記載すること。

要員参集状況表（測定分析山口）

報告先

該当区分	区分	受信者	発信者
□	県モニ本部	調整班	各拠点
□	EMC	情報収集管理グループ	測定分析山口

作成者

該当区分	拠点
□	測定分析山口
□	環境政策課
□	柳井健康福祉センター
□	環境保健センター

確認時刻　　年　月　日　時　分　　現在

区分（□拠点）	所属等	人数	役職等	氏名	参集状況チェック欄
本部班 （環境政策課）	環境生活部長、環境政策課	6	部長		
			課長		
			副課長		
調整班 （環境保健センター）	環境政策課	4	大気・化学物質班長		
	環境保健センター	1			
現地班 （柳井健康福祉センター）	環境政策課	2			
	柳井健康福祉センター	3	副部長		
	岩国健康福祉センター	1			
	周南健康福祉センター	2			
	環境保健センター	2			
分析班 （環境保健センター）	環境保健センター	5			
EMC派遣 （愛媛県オフサイトセンター）	環境政策課	2			
EMC派遣 （山口県環境保健センター）	環境保健センター	2			

合計　30

資材確認表（測定分析山口）

報告先

該当区分	区分	受信者	発信者
□	県モニ本部	調整班	各拠点
□	EMC	情報収集管理グループ	測定分析山口

作成者

該当区分	拠点
□	測定分析山口
□	環境政策課
□	柳井健康福祉センター
□	環境保健センター

確認時刻　　年 月 日 時 分　　現在

区 分	モニタリング資機材	合計			八島測定局			環境保健センター			柳井健康福祉センター			県庁			上関町
		配備	確認	追加	配備	確認	追加	配備	確認	追加	配備	確認	追加	配備	確認	追加	配備
空間放射線量率等測定機器	CsIシンチレーション検出器	1			1												
	ヨウ素サンプラ	1			1												
	大気モニタ	1			1												
	気象計(風向、風速、気温、雨量、感雨、日射量、放射収支量)	1			1												
	可搬型モニタリングポスト	1									1						
モニタリングシステム	環境放射線テレメータシステム(監視端末)	6						3						2			1
	モニタリング情報共有・公表システム(タブレットPC)	7						4						3			
サーベイメータ	NaIシンチレーション式サーベイメータ	4						3			1						
	電離箱式サーベイメータ	4						3			1						
	GM管式サーベイメータ	4						3			1						
	表面汚染測定用サーベイメータ	4						3			1						
サンプリング器具	採土器	1			1												
	採泥器	1			1												
分析装置	ゲルマニウム半導体検出器	1						1									
防護用資機材	電子式個人線量計	10						8			2						
	防護服(着)	600			10			490			100						
	キャップ(個)	600			10			490			100						
	シューズカバー(組)	600			10			490			100						
	手袋(対)	600			100			400			100						
	手袋:厚手(対)	600			10			490			100						
	インナー手袋(対)	600			10			490			100						
	防塵マスク(D2)(枚)	500			10			390			100						
	防塵マスク(個)	10			2			6			2						
	防塵マスク用フィルター(組)	100			5			75			20						
	保護メガネ(個)	10			2			6			2						

確認欄: 数量を記入すること
追加欄: 必要な場合、赤字で希望数を記入すること